

MAENAN SAH Journal Vol.33

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Feb. 22nd, 2024

★令和6年度実施予定『本校生徒の主体性を高める取組』★

12/26 木発行のSAH Journal Vol.26において標記の「中間報告」をさせていただきましたが、令和5年度最終版として「来年度予定」の報告をさせていただきます。『突然の大改革』になってしまわないように「中間報告」では『8項目』を紹介させていただきましたが、関根校長先生の『無理な改革はしない』『できる部分から徐々に着手する』『来年度からできる事業を考える』『さらに来年度も議論を継続していく事業があってもよい』という方針のもと、下のような『12項目』を決定しましたので、ご紹介いたします。来年度も含め、今後もさらに協議を重ねて参ります。



①『生徒の主体性を育てる授業』

先日の『SAH 非認知能力アンケート』では『非認知能力を向上させる場面』の『第2位』として生徒が『授業』をあげています。引き続き、『認知能力&非認知能力の両者を向上させる効果的な教授法』を求め、教員は自己研鑽し研究して参ります！

②『個別最適化した生徒への課題』

生徒に『同一課題』を課す時もありますが、『範囲を設定し、その中から生徒が自分にとって最適な課題を選択する』『問題集自体を生徒が個別に選択する』等を開始している教科もあります！『Classi』のAIを駆使した『個別最適課題』の活用もより促進します！

③すべての『考査』を4日間で実施

じっくり考査に取り組めるようすべての考査を『4日間実施』とします。これで『1日に実施する試験科目』が少ない日が生まれ、集中して学習できるはず。1,2年の1学期中間考査では、試験範囲が極端に少ない科目は『期末考査のみで実施』とすることも検討しています。

④生徒が作成した『身だしなみルール』の運用

『生活委員会』を中心に取り組んでいる『校則の見直し』により『自己中心的なおしゃれ』ではなく『社会で通用する身だしなみ』を意識した『校則』が生まれます！生徒自身のWell-beingを高める校則になると信じています！

⑤『身だしなみ』の『セルフチェック化』

生徒作成の『身だしなみルール』には従来の『検査的』な服装髪型指導は不釣り合いであり、生徒が自分を律する『身だしなみのセルフチェック化』が理想的です。この議論も『生活委員会』を中心に協議しています。一部の生徒は、教員からの指導も必要だと考えているようです。さて、どのような答えを生徒たちが出すのか、楽しみです！

⑥『3年間を見通した進路指導』

来年度は、すべての学年が『新教育課程』による学年となります。よって次の大学入試は『新入試』となります。共通テストには『情報Ⅰ』も入り、科目名も『新教育課程での新科目名』となります。今後も進路指導部より出される新情報をお見逃しなく！

⑦『サタデープラン』の大幅縮小

1,2年対象の『サタデープラン』の『土曜補習』を廃止し、生徒に『自由な時間』を返却します！『土曜日の自由度』を高め、『部活動』だけでなく『自分の興味のある分野への挑戦』をして欲しいと思います。『1月実施英検』のみ土曜日に学校で行います。あとは『本会場での受験』を促す予定です。3年を対象とした『共テ対策補習』は従来通り実施します。全学年対象の土曜日を利用した『模試』についても従来通り実施します。『SAH 非認知能力アンケート』結果で課題となった『自由度の高い時間の活用法』が問われます！生徒のみならず、『工夫力』を磨く機会です！

⑧『生徒の主体性を育成する補習』の企画

『教わる』ではなく『学ぶ』へというスローガンのもと『やらされている補習』ではなく『生徒が主体的に参加できる補習』を目指します。授業日の朝や放課後、長期休業中の『補習』は従来通り設定しますので、積極的な参加をお待ちしています！

⑨『Classi』を利用した自主学习促進

令和6年度より『Classi』を正式に導入いたします。共通テストの新科目になる『情報Ⅰ』の自主学习ツールとして『Classi』の利用が不可欠だと考えます。全学年の進学対策・模試対策としての『AI』を駆使した機能も充実しており、使い方を含め情報提供いたします！

⑩『生徒の主体性を発揮できる学校行事』の設定

令和6年度の『文化祭』のあとで『文化祭の毎年実施の是非』について生徒会がまとめ役となり協議する予定です。他の行事も含め、より主体性を発揮できる魅力あふれる学校行事となることを期待しています！

⑪『生徒の主体性を発揮できる部活動』の促進

『SAH 非認知アンケート』で『非認知能力を発揮できる場面』の『第1位』の部活動がさらに活発になることを期待しています！各部活動の特色を活かす取組がさらに出現することに期待しています！

⑫『生徒の主体性を発揮できる環境』の整備

『アイス自販機導入』のように、生徒の『Well-being』を高められる環境の整備を目指します！図書委員会が手がけた『中庭活用の活性化』については、生徒会内にプロジェクトチームが立ち上がりました！乞うご期待！

昨年4月に『SAH』とは『生徒の主体性を育成するプログラム』であると聞いたときには正直戸惑いました。『SELHI』『SGH』『SSH』などの文部科学省からの指定事業は『教員が研究・企画する形式』でしたので、教員のすべきことが明確でしたが『SAH』は『教員』ではなく『生徒』が『どうすれば自ら考え、判断し、行動するのか？』という点において難しさを感じました。しかし、1年をかけ、このような『生徒が主体的に活動しやすい環境や仕組み作り』ができあがりつつあります！ご紹介した『12項目』のほかにも協議している項目がありますが、決まり次第、お知らせいたします！生徒とともに前南はさらに進化を続けます！星野 亨（教頭）



★校長より★

♪くまの子みていた かくれんぼ おしりを出した子一等賞・・・いいいいいな にんげんっていいいな♪ 右上の「ニコちゃん」を見ていたら、こんなフレーズが頭の中に流れてきました。何か幸せを感じます。最上位目標はあっても、どうしたらよいかの道筋は見えない、どれが正解なのかもわからない中で、前南生は着実に進んできたと思います。また、先生方も生徒に『指示することなく、自然に気づき歩み始める』ためにはどうすれば良いかを真剣に考えてくれました。それがこの12項目です。PDCAサイクルを繰り返しながら、さらに進化できるといいと思います。生徒も先生方も疲れたでしょう。そんな時は、♪みんなまでなかよくポチャポチャおふる あったかいふとんで眠るんだろな♪ きっとみんなのWell-beingが叶いますよ。 校長 関根 正弘